

PET/CT検査の説明書

PET/CT検査についての注意事項

この検査はFDGという放射性薬剤を注射してから1時間後に撮影を行います。いくつか注意事項がございますので、必ずお読み下さい。

飲食について



- ・ご予約時間の6時間前からは絶食（ガムや飴を含む）をお願いします。検査の当日も6時間前まではお食事をお取りいただけますが、いつもの半分の量にして下さい。
- ・検査当日はいつもより多めの水分をお取り下さい。ただし、ご予約時間の6時間前からは水や無糖のお茶などでお過ごし下さい。

お薬について



- ・検査当日は糖尿病の飲み薬や注射薬の使用を中止して下さい。お薬を中止できない場合はご相談下さい。主治医の先生から指示が出ている場合は、それに従って下さい。
- ・糖尿病のお薬以外はいつもと同じようにご使用下さい。

その他・検査について



- ・筋肉を動かすことでPET画像に影響を及ぼす場合があります。前日より運動はお控え下さい。
- ・検査終了後の食事制限はありません。引き続きいつもより多めの水分をお取り下さい。

PET/CT検査の流れ

1

検査の流れについて説明し、問診を行います。



2

体重に合わせたFDGを静脈から注射します。FDGはブドウ糖によく似たお薬であり、副作用はほとんどありません。



3

FDGが全身に行き渡るまで検査室内の待機室で1時間程安静にさせていただきます。お薬が全身に行き渡るよう安静にされて下さい。読書や携帯電話、スマートフォンのご使用もお控え下さい。



4

排尿を済ませた後、15～20分くらいかけて撮影を行います。



待ち時間を含め約2時間30分

検査の安全性(副作用、被ばくなど)について

検査に使用するFDGには副作用はほとんどありません。

注射されたFDGによる被ばく線量は約2.4ミリシーベルト(1年間に自然から受ける放射線量とほぼ同程度)です。さらにCT検査による被ばくが加わり、この2～3倍になりますが、健康被害が起こることはございません。また、検査終了後も身体の中には少量ですがFDGが残っています。検査終了後2時間は出来るだけ人混みをお避け下さい。検査当日は妊婦や乳幼児との接触を出来るだけお避け下さい。

その他注意事項

- ・妊娠されている方、妊娠の可能性のある方には検査を行いません。
- ・ペースメーカー、ICD(植込み型除細動器)の種類により一部使用できない検査機器がございますので、ペースメーカー手帳をお持ち下さい。機種によっては本体部分を撮影範囲から外す場合がございます。
- ・閉所恐怖症の方は検査できない場合がございます。
- ・原則として検査着に着替えていただきますので、着替えやすい服装での来院をお願い致します。ヘアピン、イヤリングやピアス、ネックレス、入れ歯などは検査時に外していただきます。
- ・夏季は熱中症予防のため、より積極的な水分の摂取をお願い致します。
- ・冬季の来院時はなるべく冷気を避け、暖かい服装でお越し下さい。身体が冷えることにより病気以外の部分にFDGが集まる場合がございます。
- ・医療スタッフの被ばくを低減するために、FDG注射後は距離を置いてのご案内となります。待ち時間もモニターによる安全確認を行っております。
- ・注意事項が守られなかった際は、検査日を変更する場合がございます。
- ・授乳中の方には特別な注意がございますので、別紙をお渡し致します。
- ・PET/CT検査で得られた画像を含む結果については、個人が特定できないように配慮した上で学会や研究に使用させていただく場合がございます。

検査の予約変更/取り消しについて

予約の変更または取り消されたい場合は必ず2日前までに下記までご連絡お願い致します。

検査当日にお越しになれなくなった場合も必ずご連絡下さい。

検査に使用する薬剤は患者様ごとに用意しておりますので無断キャンセルの場合、やむを得ない理由を除き薬剤料金をお支払いいただきます。

午前中は駐車場が大変混雑致しますので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。

お車でお越しの際は、余裕を持ってお早めにお越し下さいますようお願い申し上げます。